共通テストの数字・時刻・計算が絡む問題

数字の問題は英語力より「聞き分け」と「計算の手順」で落とす。13と30、時刻・日付・金額の言い方、割引・合計・期限の計算を型で覚える。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. -teen は後ろ、-ty は前が強い。文中では -teen の長さも手掛かり
2. 聞こえた数字は材料。but・except・per の後で計算し直す
3. 日付・期限は基準日を決め、両端を含むかを確かめる

聞こえた数字は答えではない

数字が絡む設問は、聞こえた(読んだ)数字に割引・人数・時間の差を加えて初めて答えになる形がよくある。誤答の選択肢には、本文に出てきた数字そのものが並ぶ。数字を聞いたら「これは材料」と考え、条件を全部そろえてから計算する。

数字の読み方・聞こえ方 14

R・L共通。左の英語を見て、すぐ右の数字が出るように

英語	数字	メモ
☐ **thirteen／thirty**	13／30	単独では thirteen／thirty。続く語で強さが前に移ることも
☐ **fifteen／fifty**	15／50	単位(dollars・minutes)まで聞いて確定
☐ **a hundred and fifty**	150	and は英で入りやすい
☐ **two hundred thousand**	200,000	thousand の前が千の位。20万
☐ **one point five million**	1,500,000	150万。point は小数点
☐ **nineteen ninety-eight**	1998年	年は2けたずつが基本。2005＝two thousand five
☐ **twenty twenty-six**	2026年	two thousand twenty-six とも
☐ **twelve fifty**	$12.50	金額の文脈で(dollars・cents を省略)。時刻なら 12:50
☐ **oh-nine-oh**	090	電話番号の0は oh が多い(zero も)。1けたずつ
☐ **a quarter past eight**	8:15	米では a quarter after とも
☐ **a quarter to eight**	7:45	to＝前。8時15分前
☐ **half past ten**	10:30	ten thirty とも言う
☐ **ten to five**	4:50	5時10分前
☐ **the third of May／May third**	5月3日	英は日→月、米は月→日の順が多い

期間・頻度・数量の表現 14

英語	意味	メモ
☐ **every other day**	1日おき	every two days と同じ
☐ **twice a week**	週に2回	a は「～につき」
☐ **a fortnight**	2週間	英で使う
☐ **a dozen**	12	two dozen eggs＝卵24個
☐ **a couple of**	2つの・2、3の	口語では2～3の幅がある
☐ **per**	～につき	$5 per person＝1人5ドル
☐ **at least**	少なくとも	その数を含む
☐ **more than 10**	10より多い	10は含まない。11以上(整数なら)
☐ **up to**	最大～まで	up to 30 people ＝30人まで
☐ **within a week**	1週間以内に	基準日から数える
☐ **a week from today**	来週の今日	today が火曜なら次の火曜
☐ **the day after tomorrow**	明後日	the day before yesterday＝一昨日
☐ **Monday through Friday**	月曜から金曜まで	through は両端を含む(米)
☐ **decade**	10年	century＝100年

計算の型 5

☐ **1 割引は条件→率→人数**

「誰が・何人以上で・いつ」の条件を満たすか確かめてから割引し、最後に人数をかける。

> Adults $20, children half price. Groups of four or more get 10% off.
> 大人2人・子ども2人＝$60→10%引きで $54

☐ **2 時刻は時をまたぐ所で**

開始時刻＋所要時間、締め切り－準備時間。60分を超える所で間違えやすい。

> The show starts at 6:40 and lasts 95 minutes.
> 終了は8:15

☐ **3 期間は両端を数える**

開催・営業期間の from May 3 to May 9 は7日間。9−3＝6 にしない。曜日の計算は指で数える。

☐ **4 差と倍を区別**

200 more than last year は「200増」、twice as many as は「2倍」。増加量と増加率も別物。

☐ **5 合計か1人あたりか**

in total／altogether／each／per person を見落とさない。人数をかけ忘れる誤答が多い。

例題データ：留学先の美術館(オリジナル)

下の確認テスト3～5で使う

区分	料金	条件
大人	$15	–
学生	$10	学生証の提示が必要(ないと大人料金)
6歳未満	無料	under 6
火曜日	全員半額	祝日の火曜は除く

リスニングの数字問題の手順 4

① **先読みで「何の数字か」を決める**
選択肢が金額か・時刻か・人数かを確認。単位まで見ておく。

② **聞こえた数字は全部書く**
単位つきで余白に。$15・3人・6:40 のように。

③ **but・except・only の後で直す**
条件は数字の後に付け足されることが多い。最後の1文まで計算しない。

④ **計算したら選択肢と照合**
聞こえた数字そのものの選択肢は、まず疑う。

◆ 数字問題のやりがちなミス 5

☐ ✕ ~~a quarter to six＝6:15~~
○ **a quarter to six＝5:45**
to は「～前」。past／after が「～過ぎ」

☐ ✕ ~~聞こえた $20 をそのまま選ぶ~~
○ **割引・人数・送料を反映して計算**
本文の数字そのものは誤答に使われる

☐ ✕ ~~from 3 to 9 を6日間とする~~
○ **両端を含めて7日間**
引き算は両端の一方を落とす

☐ ✕ ~~more than 10 に10を含める~~
○ **10は含まない**
10を含むなら at least 10／10 or more

☐ ✕ ~~5/6 を必ず5月6日と読む~~
○ **米は5月6日、英は6月5日**
数字だけの日付は国で順番が違う

◆ 確認テスト

1 ten to five は何時？
a 10:55　b 5:10　c 4:50　d 10:05

2 The bus runs every other hour from 8:00. 8:00の次は？
a 9:00　b 10:00　c 12:00　d 8:30

3 美術館：大人2人と学生1人（学生証あり）が月曜に入る。合計は？
a $20　b $40　c $45　d $30

4 美術館：同じ3人が祝日でない火曜に入る。合計は？
a $15　b $40　c $35　d $20

5 美術館：学生証を忘れた学生1人の料金は？
a $10　b $5　c 無料　d $15

6 The sale runs from June 10 to June 16. 何日間？
a 5日間　b 7日間　c 8日間　d 6日間

◆ 解答

1 4:50 5時の10分前
2 10:00 every other＝1つおき（2時間ごと）
3 $40 15×2＋10＝40
4 $20 全員半額で40÷2
5 $15 条件を満たさないので大人料金
6 7日間 両端を含める

参考資料 大学入試センター「令和8年度 本試験の問題」（英語リーディング・リスニング）／大学入試センター「令和7年度 本試験の問題」

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）